

平成22年度
病院経営調査報告

(平成22年5月状況調査)

平成22年12月

社団法人 全日本病院協会

医療保険・診療報酬委員会

平成22年度 病院経営調査 報告

1 調査目的

病院の経営収支の状況を把握することを目的とした。

2 調査客体

全日本病院協会役員、代議員及び各県より無作為抽出した会員病院を客体とし、
客体数を600病院とした。

3 調査内容

病院の一般状況及び収支状況について調査した。

4 調査期間

平成22年5月1日から5月31日までの間

5 調査方法

調査票を客体病院に送付し、自計記入後記名で返送された。

6 調査票の回収

回答病院数は335であり、回答率は55.8%であった。

調 査 結 果

1. 回答病院について

回答した335病院の内訳は次のとおりである。

表1 病院数、経営主体別

	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
個人	11	3.3
医療法人	288	86.0
その他	36	10.7

表2 病院数、地域別

	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
東京	29	8.7
指定都市	61	18.2
その他	245	73.1

表3 病院数、病床数別

病床数	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
～49	24	7.2
50～99	94	28.0
100～199	134	40.0
200～499	74	22.1
500～	9	2.7

表4 病院数、DPC別

	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
対象病院	87	26.0
非対象病院	248	74.0

表5 病院数、院外処方箋の有無別

	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
出している	258	77.0
出していない	77	23.0

表6 病院数、給食委託の有無別

	病院数	構成比 (%)
総数	335	100.0
全て委託	193	57.6
一部委託	30	9.0
委託していない	112	33.4

回答数(335/600)は昨年より37病院増え、335病院(回答率:55.8%)である。
院外処方箋を出している病院は前年の76.2%より若干増えている。

給食を委託(一部委託を含む)している病院は、前年62.8%から66.6%と少し増えている。

なお、平成18年度よりDPC対象病院の有無について調査を行っており、今年度の回答病院のうち、DPC対象病院は87病院(26.0%)と昨年の67病院(22.5%)より大きく増えている。

表7 病院数、病床数、病院種別

	病院数	病床数
総数	335	58,480
一般病床のみ	129	20,164
療養病床のみ	38	4,432
うち医療保険のみ	16	1,280
介護保険のみ	3	414
医療保険と介護保険併設	19	2,738
精神病床のみ	10	2,270
うち医療保険のみ	10	2,270
介護保険のみ	—	—
医療保険と介護保険併設	—	—
一般・療養病床併設	140	22,574
うち医療保険のみ	98	15,548
介護保険のみ	5	631
医療保険と介護保険併設	37	6,395
一般・精神病床併設	7	4,541
うち医療保険のみ	7	4,541
介護保険のみ	—	—
医療保険と介護保険併設	—	—
その他	11	4,499

注：結核病床を持つ病院は4で、結核病床数は91であった。また感染症病床を持つ病院は1で、感染症病床数は4であった。なお、表7には結核病床、感染症病床は一般病床に含めてある。

表8 病床数、病床種別

	総数	医療保険	介護保険
総数	58,480	54,440	4,040
一般病床	36,882	36,882	—
療養病床	15,730	11,690	4,040
精神病床	5,773	5,773	0
結核・感染症病床	95	95	—

全病床のうち医療保険は93.1%、介護保険は6.9%であり、昨年の92.8%、7.2%と比べてあまり変化は無い。

病床種別病床数では療養病床の25.7%（昨年26.6%）が介護保険指定を受けており、精神病床は介護保険指定がない。

2. 病院の収支

表9 収支率、地域別

	医業収支率 (%)		総収支率 (%)	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	104.3	106.7	104.2	106.5
東京	102.4	103.9	102.5	103.8
指定都市	105.0	109.0	105.3	109.6
その他	104.4	106.5	104.1	106.1

総数で見ると、平成22年の医業収支率は、平成21年と比較して2.4%上がり、総収支率は2.3%上がっている。

表10 病院数の%、医業収支率別

医業収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	23	20	33	35	22	16	22	19
100%以上	77	80	67	65	78	84	78	81

医業収支では、20%の病院が赤字であり、昨年(23%)より改善している。地域別では、東京は35%の病院が赤字である。

表11 病院数の%、総収支率別

総収支率	総数		東京		指定都市		その他	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	100	100	100	100	100	100	100	100
100%未満	23	19	41	28	22	16	21	19
100%以上	77	81	59	72	78	84	79	81

表11は、医業収支以外の収支を加えた総収支についてみたもので、19%の病院が赤字である。

表 1 2 病院数、医業収支率別、総収支率別

収支率 (%)	医業収支				総収支			
	平成21年		平成22年		平成21年		平成22年	
	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)
総数	298	100.0	335	100.0	298	100.0	335	100.0
～84	6	2.0	8	2.4	6	2.0	8	2.4
85～89	4	1.3	5	1.5	4	1.3	7	2.1
90～94	22	7.4	14	4.2	24	8.1	11	3.3
95～99	36	12.1	40	11.9	35	11.7	39	11.6
100～104	62	20.8	73	21.8	57	19.1	85	25.4
105～109	64	21.5	73	21.8	60	20.1	59	17.6
110～114	40	13.4	40	11.9	55	18.5	50	14.9
115～	64	21.5	82	24.5	57	19.1	76	22.7

表 1 2 は、医業収支、総収支の収支率を 5 パーセントの幅をもって病院数の構成比をみたもので、医業収支でみると収支率 1 1 5 % 以上の病院が 8 2 あり、2 4 % 弱の構成比である。

表13 推計キャッシュフロー率、病院数別

キャッシュフロー (%)	平成21年		平成22年	
	病院数	構成比 (%)	病院数	構成比 (%)
総数	292	100.0	328	100.0
～-16	11	3.7	12	3.7
-15～-11	3	1.0	4	1.2
-10～-6	18	6.2	14	4.3
-5～-1	37	12.7	33	10.1
0～4	67	22.9	88	26.8
5～9	85	29.1	92	28.0
10～14	35	12.0	38	11.6
15～	36	12.3	47	14.3

表14 推計キャッシュフロー率、病院数の%、地域別

キャッシュフロー (%)	総数		東京		指定都市		その他	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0%未満	23.6	19.2	48.1	20.7	19.1	15.3	21.6	20.0
0%以上	76.4	80.8	51.9	79.3	80.9	84.7	78.4	80.0

今回は、推計キャッシュフロー率を下記の方法で計算した。

推計キャッシュフロー額＝総収支差額－（総収支差額×0.4）（注1）

＋減価償却額（注2）＋借入金収入額（注3）－借入金返済額（注4）

（注1）所得税推計額であり、総収支差額が赤字の場合は0とした。

（注2～4）平成20年度実績の1/12とした。

推計キャッシュフロー率＝キャッシュフロー額/総収入額

推計キャッシュフロー率は0%未満が総数で19.2%であった。

表15 収支率、病院種別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	298	335	104.3	106.7	104.2	106.5
一般病床のみ	110	129	102.6	105.1	102.7	105.2
療養病床のみ	40	38	112.3	112.7	112.1	112.0
うち医療保険のみ	17	16	113.6	112.0	113.8	110.3
介護保険のみ	1	3	115.8	110.5	116.2	111.1
医療保険と介護保険併設	22	9	111.2	113.5	110.6	113.4
精神病床のみ	14	10	112.2	100.3	112.0	100.2
うち医療保険のみ	13	10	112.2	100.3	111.9	100.2
介護保険のみ	—	—	—	—	—	—
医療保険と介護保険併設	1	—	112.5	—	112.8	—
一般・療養病床併設	117	140	106.5	109.2	106.1	108.6
うち医療保険のみ	78	98	106.9	109.4	106.6	109.0
介護保険のみ	7	5	115.5	106.0	114.7	105.2
医療保険と介護保険併設	32	37	104.4	108.8	103.5	107.5
一般・精神病床併設	7	7	100.9	104.5	100.8	104.5
うち医療保険のみ	7	7	100.9	104.2	100.8	104.2
介護保険のみ	—	—	—	—	—	—
医療保険と介護保険併設	—	—	—	—	—	—
その他	10	11	105.4	108.7	105.3	109.1

「精神病床のみ」の病院は、医業収支率、総収支率とも全体平均より悪い。

表16 収支率、病床規模別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	298	335	104.3	106.7	104.2	106.5
～49床	23	24	105.7	107.7	106.2	108.0
50～99床	82	94	106.4	107.9	106.5	107.6
100～199床	122	134	106.3	108.8	106.3	108.8
200～499床	61	74	103.7	105.1	103.4	104.7
500床～	10	9	100.6	105.5	100.4	105.9
(再掲)						
～199床	227	252	106.3	108.5	106.3	108.4
200床～	71	83	102.7	105.2	102.4	105.0

表17 収支率、DPC別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	298	335	104.3	106.7	104.2	106.5
DPC対象病院	67	87	102.5	105.0	102.4	105.1
DPC非対象病院	231	248	106.4	109.0	106.2	108.5

医業収支率、総収支率は昨年と同様、DPC対象病院の方が低い。

表18 収支率、障害者施設等入院基本料・特定入院料（回復期リハ等）算定別

	回答数		医業収支率		総収支率	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
総数	298	335	104.3	106.7	104.2	106.5
障害者施設等入院基本料 算定病院	24	31	105.3	107.5	104.9	106.8
回復期リハビリテーション 病棟入院料算定病院	72	83	105.0	108.3	104.6	108.2
亜急性期入院医療管理料 算定病院	86	97	105.6	109.1	105.7	108.8
特殊疾患病棟入院料 算定病院	7	12	112.8	114.1	113.0	113.2
特殊疾患入院医療管理料 算定病院	10	8	107.8	109.0	107.6	107.1

表19 1病院当たり金額の%、病院種別、収支科目別

	総数	一般のみ	療養のみ	精神のみ	(再掲)DPC
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.2	67.4	85.9	87.4	69.3
外来	24.6	27.6	9.1	11.1	25.5
室料差額	2.1	1.8	1.1	0.4	2.4
その他	3.1	3.2	3.9	1.1	2.9
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.9	53.8	62.5	67.1	53.7
医薬品費	11.1	11.8	4.2	6.2	12.0
給食材料費	0.7	0.3	1.0	3.0	0.5
診療材料費	8.0	9.8	2.5	0.8	9.9
経費	12.3	11.8	15.1	11.3	11.8
委託費	6.3	6.6	8.3	4.8	6.1
減価償却費	4.7	4.5	5.3	6.1	4.9
その他	1.1	1.2	1.1	0.7	1.1

一般病院に比べ療養、精神病院は入院収入の比率が高く、また支出では給与費の比率が高い。また、医薬品費は一般病床で比率が高い。

表20 1病院当たり金額の%、地域別、収支科目別

	総数		東京		指定都市		その他	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.6	70.2	67.2	64.1	69.5	71.1	71.3	70.7
外来	24.6	24.6	25.5	28.1	25.4	24.3	24.2	24.2
室料差額	1.9	2.1	4.6	4.6	1.7	1.7	1.6	1.9
その他	2.9	3.1	2.6	3.3	3.4	2.9	2.8	3.2
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.3	55.9	57.4	56.0	53.4	55.4	55.5	56.0
医薬品費	10.9	11.1	8.8	11.9	10.5	9.3	11.2	11.4
給食材料費	0.6	0.7	0.4	0.4	0.2	0.4	0.7	0.8
診療材料費	8.3	8.0	7.3	8.1	9.3	7.9	8.1	8.0
経費	12.8	12.3	14.2	12.0	12.9	13.5	12.6	12.0
委託費	6.3	6.3	7.2	6.8	7.5	7.4	5.9	6.0
減価償却費	5.0	4.7	3.9	4.4	5.1	4.6	5.1	4.8
その他	0.9	1.1	0.8	0.4	1.2	1.5	0.9	1.1

地域別、収支科目別では、東京の室料差額が際立って高い。

表 2 1 1 病院当たり金額の%、病床規模別、収支科目別

	総 数		～ 4 9		5 0 ～ 9 9		100～199	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	70.6	70.2	49.8	51.6	61.6	62.0	71.4	69.5
外来	24.6	24.6	44.6	42.7	33.8	31.9	24.2	25.9
室料差額	1.9	2.1	1.8	1.8	1.5	1.8	1.8	1.4
その他	2.9	3.1	3.7	3.8	3.1	4.2	2.6	3.2
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.3	55.9	51.8	54.3	55.5	56.1	56.4	57.2
医薬品費	10.9	11.1	12.4	12.3	9.9	9.0	10.1	10.2
給食材料費	0.6	0.7	0.6	0.5	0.6	0.5	0.7	0.7
診療材料費	8.3	8.0	7.5	6.0	7.1	6.9	7.2	6.8
経費	12.8	12.3	16.5	15.5	15.5	15.7	13.4	13.1
委託費	6.3	6.3	6.4	7.1	6.4	6.8	6.5	6.4
減価償却費	5.0	4.7	3.4	3.2	4.1	4.2	4.6	4.5
その他	0.9	1.1	1.3	1.2	0.9	0.8	1.0	1.1
	200～499		500～		～199 (再掲)		200～(再掲)	
	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年	平成22年
医業収入合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
入院	73.3	73.1	72.3	73.2	67.8	66.7	73.0	73.1
外来	22.2	21.7	21.2	21.1	27.6	28.3	21.9	21.5
室料差額	1.7	2.6	2.8	2.3	1.7	1.6	2.1	2.5
その他	2.7	2.7	3.7	3.4	2.8	3.5	3.0	2.8
医業支出合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
給与費	55.4	55.7	53.5	53.6	56.0	56.8	54.7	55.1
医薬品費	10.6	11.6	13.1	13.1	10.2	10.0	11.4	12.0
給食材料費	0.6	0.6	0.4	0.8	0.7	0.6	0.5	0.7
診療材料費	8.9	8.8	9.7	9.8	7.2	6.8	9.2	9.0
経費	11.9	11.1	11.3	10.5	14.1	13.9	11.7	10.9
委託費	6.1	6.0	6.4	6.3	6.5	6.6	6.2	6.1
減価償却費	5.8	5.1	4.7	4.7	4.5	4.3	5.4	5.0
その他	0.8	1.1	0.9	1.2	1.0	1.0	0.9	1.2

表 2 2 病院数，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟入院基本料		平成 22 年 5 月時点					⑤特別入院基本料
		総数	① 7 対 1	②10 対 1	③13 対 1	④15 対 1	
平成 21 年 5 月	総 数	274	82	127	20	45	-
	① 7 対 1	75	72	3	-	-	-
	②10 対 1	128	10	117	1	-	-
	③13 対 1	25	-	6	17	2	-
	④15 対 1	46	-	1	2	43	-
	⑤特別入院基本料	-	-	-	-	-	-

表 2 3 医業収支平均比率，一般病棟入院基本料・年次別

一般病棟入院基本料		平成22年5月時点				
		① 7 対 1	②10 対 1	③13 対 1	④15 対 1	⑤特別入院基本料
平成 21 年 5 月	① 7 対 1	105.3	108.3	-	-	-
	②10 対 1	110.7	106.3	97.5	-	-
	③13 対 1	-	104.3	109.7	102.0	-
	④15 対 1	-	122.5	120.0	108.1	-
	⑤特別入院基本料	-	-	-	-	-

3. 平成21年調査と平成22年調査との比較

表24 平成21年調査と平成22年調査の比較

	平成21年	平成22年
調査客体数	500	600
有効回答数	298	335
有効回答率 (%)	59.6	55.8
1病院当たり許可病床数	175	175
1病院当たり1日入院患者数	146	148
病床利用率 (%)	83.9	84.9
1病院当たり月間外来患者数	4,995	5,001
医業収支率	104.3	106.7
医業収支率100%未満の病院の%	23	20
医業支出中の給与費の%	55.3	55.9
医業支出中の医薬品費の%	10.9	11.1
院外処方箋あり	9.7	9.8
院外処方箋なし	15.5	16.3
従業員1人当たり医業収入(千円)	853.2	888.0
従業員1人当たりの給与費(千円)	452.1	464.9
従業員1人当たりの付加価値(千円)	487.6	520.7
入院1人1日当たり金額 (円)	31,241	32,580
199床以下 (円)	28,344	28,961
200床以上 (円)	34,108	36,042
外来1人1日当たり金額 (円)	9,890	10,497
199床以下 (円)	9,297	10,046
200床以上 (円)	10,647	11,045
(再掲) 院外処方箋あり (円)	9,364	10,057
199床以下 (円)	8,506	9,289
200床以上 (円)	10,510	10,984
(再掲) 院外処方箋なし (円)	12,403	12,580
199床以下 (円)	13,548	13,550
200床以上 (円)	11,218	11,346
* 付加価値率	0.572	0.586
* 労働分配率	0.927	0.893

* 付加価値率 = (医業収入 - 医業費用 + 給与費) / 医業収入

労働分配率 = 給与費 / 付加価値 (医業収入 - 医業費用 + 給与費)

表25 平成21年と平成22年の同一病院(247)の比較

	平成21年	平成22年
病床数	43,395	43,054
一般	27,217	27,537
療養	11,385	10,858
精神	4,698	4,564
結核(含感染症)	95	95
1病院当たり許可病床数	176	174
1病院当たり1日入院患者数	147	148
病床利用率(%)	83.7	85.0
1病院当たり月間外来患者数	5,213	5,212
199床以下	3,821	3,723
200床以上	9,852	10,066
1病院当たり医業収入(百万円)	207.4	218.1
医業収支率(%)	103.9	106.7
医業収支率100%未満の病院の%	24	20
従業員数	59,095	60,457
医業支出中の給与費の%	55.3	55.7
医業支出中の医薬品費の%	11.1	11.2
院外処方箋あり	9.9	9.7
院外処方箋なし	15.7	17.5
従業員1人当たり医業収入(千円)	866.9	891.1
従業員1人当たり給与費(千円)	461.1	465.3
従業員1人当たり付加価値(千円)	493.8	521.6
入院1人1日当たり金額(円)	31,987	33,305
199床以下(円)	29,037	29,787
200床以上(円)	34,926	36,692
外来1人1日当たり金額(円)	9,891	10,413
199床以下(円)	9,363	10,256
200床以上(円)	10,573	10,601
(再掲)院外処方箋あり(円)	9,333	9,985
199床以下(円)	8,610	9,418
200床以上(円)	10,334	10,675
(再掲)院外処方箋なし(円)	12,511	12,469
199床以下(円)	13,587	14,390
200床以上(円)	11,494	10,261
付加価値率	0.570	0.585
労働分配率	0.934	0.892

表25は平成21年、22年の両年で回答してくれた同一病院(247)の比較である。
総病床数は若干減少、入院患者数、外来患者数は横ばいである。

医業収入は増え、医業収支率は2.8%増加している。

従業員数は増加している。

入院1人1日当たりの金額は増え、外来1人1日当たりの金額も若干増えている。

従業員1人当たり給与費は若干増え、従業員1人当たり医業収入も増えている。

付加価値率はやや高くなり、労働分配率は低くなっている。

表26 1病院当たり金額の%、収支科目別(247病院)

	平成21年	平成22年
医業収入合計	100.0	100.0
入院	70.3	70.1
外来	24.9	24.9
室料差額	1.9	2.2
その他	2.9	2.8
医業支出合計	100.0	100.0
給与費	55.3	55.7
医薬品費	11.1	11.2
給食材料費	0.5	0.7
診療材料費	8.3	8.0
経費	12.7	12.3
委託費	6.4	6.3
減価償却費	4.8	4.8
その他	0.8	1.0

4. 調査結果の年次推移

表27 調査結果の年次推移（平成5年～平成22年）

	平成5年	平成7年	平成8年	平成10年	平成11年
調査客対数	392	363	527	539	500
有効回答数	143	154	157	168	259
有効回答率（％）	36.5	42.4	29.8	31.2	51.8
1病院当たり許可病床数	160	153	172	162	172
1病院当たり1日入院患者数	137	129	154	138	147
病床利用率（％）	85.6	84.8	89.5	85.3	85.6
1病院当たり月間外来患者数	4,545	5,375	5,636	5,452	5,851
医業収支率（％）	101.4	105.4	105.9	104.9	104.6
医業収支率100%未満の病院の％					
総数	36	23	16	24	24
東京	77	50	31	36	29
指定都市	58	35	20	27	20
その他	28	17	13	22	24
医業支出中の給与費の％	48.8	49.9	50.2	52.5	52.2
給与費が50%を超える病院の％	46	53	59	69	68
従業員1人当たり医業収入（千円）	813.5	783.5	871.9	846.7	875.0
従業員1人当たり給与費（千円）	391.4	370.9	413.2	423.9	437.1
従業員1人当たり付加価値（千円）	403.3	410.7	461.6	463.2	475.5
付加価値率	0.495	0.524	0.529	0.547	0.543
労働分配率	0.970	0.903	0.895	0.915	0.919

表27つづき

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	262	275	238	275	251
有効回答率(%)	52.4	55.0	47.6	55.0	50.2
1病院当たり許可病床数	182	179	180	176	176
1病院当たり1日入院患者数	159	156	155	153	152
病床利用率(%)	87.3	86.9	86.1	86.9	86.4
1病院当たり月間外来患者数	7,065	6,513	6,755	6,287	5,723
医業収支率(%)	104.9	106.6	104.0	106.1	102.8
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	20	30	19	24
東京	29	36	28	41	40
指定都市	14	23	32	26	22
その他	24	18	30	16	22
医業支出中の給与費の%	51.8	53.0	53.0	52.8	53.5
給与費が50%を超える病院の%	66	69	72	75	78
従業員1人当たり医業収入(千円)	927.9	932.8	920.4	919.0	887.2
従業員1人当たり給与費(千円)	458.5	464.0	469.1	457.9	463.5
従業員1人当たり付加価値(千円)	502.0	521.5	504.4	510.4	487.3
付加価値率	0.541	0.559	0.548	0.555	0.549
労働分配率	0.913	0.890	0.930	0.897	0.951

表27つづき

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
調査客対数	500	500	500	500	500
有効回答数	265	226	288	288	298
有効回答率(%)	53.0	45.2	57.6	57.6	59.6
1病院当たり許可病床数	181	179	172	173	175
1病院当たり1日入院患者数	158	152	147	146	146
病床利用率(%)	87.3	85.6	85.4	84.2	83.9
1病院当たり月間外来患者数	5,606	5,600	5,412	5,094	4,995
医業収支率(%)	104.4	103.7	104.2	102.3	104.3
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	23	27	24	32	23
東京	47	61	42	54	33
指定都市	10	19	22	38	22
その他	23	24	22	28	22
医業支出中の給与費の%	54.1	53.9	53.7	54.3	55.3
給与費が50%を超える病院の%	77	79	78	80	83
従業員1人当たり医業収入(千円)	896.3	876.2	880.6	875.4	853.2
従業員1人当たり給与費(千円)	464.2	455.7	453.5	464.8	452.1
従業員1人当たり付加価値(千円)	501.9	486.8	489.4	484.2	487.6
付加価値率	0.560	0.556	0.556	0.553	0.572
労働分配率	0.925	0.936	0.927	0.960	0.927

表27つづき

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
調査客対数	600				
有効回答数	335				
有効回答率 (%)	55.8				
1病院当たり許可病床数	175				
1病院当たり1日入院患者数	148				
病床利用率 (%)	84.9				
1病院当たり月間外来患者数	5,001				
医業収支率 (%)	106.7				
医業収支率100%未満の病院の%					
総数	20	—	—	—	—
東京	35				
指定都市	16				
その他	19				
医業支出中の給与費の%	55.9				
給与費が50%を超える病院の%	83				
従業員1人当たり医業収入 (千円)	888.0				
従業員1人当たり給与費 (千円)	464.9				
従業員1人当たり付加価値 (千円)	520.7				
付加価値率	0.586				
労働分配率	0.893				

5. 平成22年度調査結果からみた病院の経営状況

表28 総収支状況別、病院数の%、病床数別

病床数	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	19.4	80.6	58.6	89.3
～49	20.8	79.2	57.6	87.6
50～99	23.4	76.6	59.3	87.6
100～199	16.4	83.6	60.7	86.6
200～499	21.6	78.4	57.8	91.6
500～	—	100.0	56.1	90.6
(再掲)～199	19.4	80.6	60.2	86.9
(再掲)200～	19.3	80.7	57.4	91.4

表29 総収支状況別、病院数の%、地域別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	19.4	80.6	58.6	89.3
東京	27.6	72.4	57.6	93.5
指定都市	16.4	83.6	59.1	86.1
その他	19.2	80.8	58.6	89.6

表30 総収支状況別、病院数の%、病院種別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	19.4	80.6	58.6	89.3
一般病床のみ	24.0	76.0	56.0	91.4
療養病床のみ	15.8	84.2	66.8	83.1
精神病床のみ	40.0	60.0	67.2	99.5
一般・療養	15.7	84.3	61.3	86.2
一般・精神	14.3	85.7	55.2	92.2

表31 総収支状況別、病院数の%、経営主体別

	赤字病院の%	黒字病院の%	付加価値率(%)	労働分配率(%)
総数	19.4	80.6	58.6	89.3
個人	45.5	54.5	54.2	80.8
医療法人	16.7	83.3	59.4	88.4
その他	33.3	66.7	56.4	93.1

6. 平成22年度調査結果の総括

- 平成22年度調査は、客体600病院に対し行い、回答病院は335病院(回答率55.8%)であった。
- 医業収支は総数で2.4%改善していた。(104.3→106.7)
- 医業収支で100%未満(赤字)の病院は、20%であった。東京は35%と高かった。
- 病床種別では、一般病床は2.4%改善、療養病床は著変なし、一般・療養病床併設は2.7%改善していた。精神病床は悪化しているが、客体数が少なく定かではない。
- 病床規模別では、199床以下が2.2%、200床以上が2.5%改善しており、特に500床以上では4.9%改善していた。
- DPC対象病院は、非対象病院より収支が悪かった。
- 平成21年、22年回答病院比較で、看護基準は、7:1看護が若干増えているが、収支は7:1看護が低い。
- 同比較で、入院・外来ともに単価増を認めた。
- 今回の調査では、500床以上の病院を中心に、医業収支の改善を認めた。これは、診療報酬増額改定の影響である。しかし、改善したとはいえ、病院の長期的な存続・再生を可能とする数値に至っておらず、更なる診療報酬の増額が求められる。